

渾身カラー

ほしのあき **Cat** スタイル
小澤マリア・青木りん

俵田來未 寺島しのぶ 熊田曜子
エロ歌姫に「ヘアヌード」説 前貼りなし「本番」SEX アイフルのとばっちり? 「合コン」禁止

2色カラー

女教師の濡れた放課後
昼下がりの“人妻”熟女
55カット

週刊実話

電撃特大号

W袋とじ 香月藍「濡れ恥じらう痴蜜毛」/隣の淫ら美尻妻 6/8 特価 350円

山口組「比叡山法要」の「新聞報道は嘘!

分裂で「道仁会」本部などに連続発砲

九州の有力組織

人気女子アナ 高島彩・滝川クリステル・青木裕子・鈴江奈々・武内絵美

「恥」な写真怒涛の流出

ジュー JAPAN 主力選手が「中田英はずせ」と直談判
「驚愕」
「フリリピン女性」愛欲とカネの相関図

現役AV女優 SEXアイドル7人の“初アクメ、昇天”
かすみ果穂 寧々 水嶋友穂
二宮沙樹 綾乃梓 大城舞衣子

密輸の末端価格1000億円
北朝鮮の「シャブの帝王」“闇”と愛人
「駅前留学」はやっぴりあかんか?
30億の大赤字「NOVA」の末路

加藤 鷹
脳で感じる「安らぎセックス術」
村上ファンド“外資に変身”で
「阪神タイガース」消滅!
ああ、いとしの変態エレジー
SMカップルの“夫婦善哉”に幸あれ!

インタビュー
生島ヒロシ
(キャスター)

セブ妻では満足しない元女子アナの「お仕事」
永井美奈子 八塩圭子 富永美樹
大神いずみ 雨宮塔子 内田恭子



村岡沙耶香

“お祭り”ダービー大特集
私はこの馬で勝負する!

救急車の中で盗撮した巡査部長

全国どこもかしこも盗撮ブーム。昨日(17日)は、日テレの男性アナウンサーが女子高生のスカートの中を盗撮したとして、書類送検されたという新聞が報じた。ビデオカメラやデジタルカメラ、携帯電話のカメラ機能の進化によって、いまや全国どこも盗撮事件のオンパレードである。

もちろん盗撮は悪い。だが、男をバカにしたかのように

短いスカートをはく女子高生もいる。本来こんな風潮は許されないのだが、法律がそんなゴキヤルたちを「弱者」とするのだから仕方がない。だが、絶対に許すことのできない盗撮事件もある。

私はこのたび急遽、奈良県に飛んだ。

犯罪現場はこの写真。なんと「救急車」の中だった。

「子どもが車にぶつけられて側溝に落ちた」

奈良県山辺広域行政事業組合機械消防署の119番受理台が交通事故の通報を受けたのは5月10日午後2時47分だった。現場に到着したのは3分後の50分。同救急隊のM隊長が冷



笑しながらいう。

「我々が現場に到着すると既に田原本警察署の交通課の警察官2名が現着しており、警察官に誘導されて現場に救急車を止めたのです」

そこまではいつもの光景である。ところが、その数分後盗撮犯罪史上に名を残す前代未聞の大不祥事が起きたのだ。M隊長が続けていう。

「事件当時救急車の中にいたのは運転席に座る隊員とサイド式のドアの傍らでモニターを監視していた隊員、そしてベットの横たわる子どもと心配そうに見守る母親。その右側に並列に座って事情を聴取する巡査部長(49)でした。ところが突然、付き添っていた女性が「警察官が変なこと

をするんです」といって巡査部長から取り上げた掌サイズのデジタルカメラモニターを、監視する隊員に渡したのです」

盗撮時の様子は定かではないが、どうやら巡査部長、子どもを見守る母親のスカートの隙間にレンズを向けてシャッターを切っていたらしい。付近に暮らす50歳代の主婦が唾然とした顔で取材に答えた。

「救急車の中は盗撮されても事件にならないそうですね。新聞でそう書いてましたよ」

極めてヘンな話である。県警によると救急車の中は奈良県県迷或防止条例でいうところの「公共の場所または公共の乗り物」に該当しないからだという。

「だったらバトカーの中で盗撮されても事件にならないの？」

前出の主婦がクビを傾けた。誰しもが感じる疑問だ。

その後の捜査で県警は昨年9月16日、田原本警察署の外來駐車場場で物損事故の申告に訪れた女性に指示し、車両の損傷状況を撮影するふりをして女性のスカートの中を撮影

した女性が「警察官が変なこと



パートナーテレフォンチェック実施中!

会員制交際CLUB

出会いにはさまざまなカタチがあります。「スポンサー」「SF」「アブノーマル」「恋愛」など、それぞれの理想のパートナーを求める、多数の男女会員様があなたとの素晴らしい出会いを心よりお待ちしております。

無料検索はこ55から 0120-76-5427

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-15 03-3876-5427 コールセンター受付/10:00-21:00 水曜定休

広告取扱(株) 国産社03-5952-7235

ズバリと! 正論



黒木昭雄

黒木昭雄=1957年生まれ。元警視庁巡査部長。'99年退職後、気鋭のジャーナリストとして活躍中。

した「カド」で同巡査部長を迷惑防止条例違反として逮捕したと発表したのが、どうしても釈然としないのである。事件の第一報は毎日新聞のスクープ記事だったからだ。

「もしや、事件ののみ消しでは?」

「いやいや、そんなことはありませんよ。厳正に捜査した結果です」取材に応じた県警監察課の次席はそう言った。

勤務中に撮影した画像は40枚を超えるという。もはや「困ったおまわりさん」という以外に言葉もないが、被害者は女性以外にもいる。

●次号は若林史江氏が登場します。